

## 広域行政の移り変わり

私は、現代編の主に消防、廃棄物処理を担当しました。常備消防、廃棄物処理については、現在、鹿角広域行政組合が行っており、その歴史が中心となりました。

古くは、し尿は肥料資源として重宝されていましたが、生活環境の改善により廃棄物としての処理が必要とされるようになりました。そのため各町村では、し尿の衛生的な処理が必要となり、昭和38年(1963)に小坂町、十和田町、花輪町、尾去沢町、八幡平村の鹿角郡内旧五か町村による「鹿角郡五力町村衛生処理組合」の設立が許可され、翌39年(1964)にし尿処理事業が開始されました。その後、昭和42年(1967)に組合の名称を「鹿角郡衛生処理組合」に変更しました。

同組合は、昭和44年(1969)にゴミ処理事業、昭和45年(1970)にと畜事業、昭和46年(1971)に火葬場事業と広域事業を逐次拡大してきました。昭和47年(1972)に小坂町を除く四か町村が合併し鹿角市として新たに発足したことにより、これまでの名称から「郡」の文字を除いて「鹿角衛生処理組合」と変更しました。

その後平成6年(1994)に、小坂町と鹿角市で行っていた常備消防・救急業務事業を加え、「鹿角広域行政組合」に名称を変更し現在に至っています。このような衛生処理、火葬場、常備消防などの広域行政は全国的に行われており、常備消防などは更なる広域での実施が検討されています。

非常備消防については、資料が少なく大変苦労いたしました。非常備消防とは、消防団のことです。専任の行政職員が行う消防を常備消防と呼び、それ

町史編さん協力員 細越 浩美(現代担当)

以外を非常備消防と呼んでいます。この非常備消防は、昭和30年(1955)の旧小坂町と七滝村の合併時を中心に執筆しました。

合併前の旧小坂町消防団の編成は3分団(川下地区、川上地区、町部)で、七滝村の編成は4分団(荒川地区、大地上川原地区、上向十和田湖地区、万谷地区)で構成していました。消防団の合併は町村の合併と同時に行われ、その編成は合併前と同じ管轄の7分団で構成されていました。しかし、分町問題が持ち上がり、上向地区の一部と山根地区が十和田町へ編入されたため、組織の見直しが行われて現在の5分団編成になったものです。

常備消防については、鹿角広域行政組合が発足するまで町には無かった印象がありますが、昭和39年(1964)に小坂町消防団常備部が設置され、火災に対応する体制が整えられました。当初は4人であった専任の人員体制も少しづつ強化され、業務も消防設備許認可、消防査察、消防施設管理、防災、消防団事務などと拡大してきました。

こうした中、東北自動車道の開通や小坂インターチェンジの設置が決定し、社会状況の変化と交通事故や急病への対応など救急業務の必要性が高まり、平成2年(1990)に救急業務を開始しました。小坂町消防団常備部の人員数は、鹿角広域行政組合が発足する平成6年(1994)には18人となり、発足と同時に一旦全員が広域行政組合へ転属となりました。

このように先人たちは、安全で快適な生活を守るために努力を重ねてきました。私たちも、安全安心で暮らしやすい町になるよう、みんなで協力していくなければと思っています。

## 献血へのご協力 ありがとうございました



11月7日、事業所献血・地域献血(ゆーとりあ)を行いました。たくさんの方からのご協力のおかげをもちまして、今年度の町での献血事業はすべて終了しました。引き続き、来年度からの献血もよろしくお願ひします！

**今年度の実績 143本 (目標:120本)**

### ○お問い合わせ先

福祉課まるごと支援班 (TEL 29-3926)

## 小坂町プレミアム付商品券購入対象者の方へ 【申請は1月31日まで】

プレミアム付商品券対象者の方へ送付している申請書の受付は、**1月31日(金)まで**となっています。商品券の購入を希望する方はお早めに申請してください。

また、商品券の使用期間は**2月29日(土)まで**となっています。使用期間を過ぎると使用できなくなりますので、使い忘れのないようご注意ください。

※プレミアム付商品券の概要は広報こさか7~12月号にも掲載しています。

※プレミアム付商品券について、役場や商工会から電話にて購入をすすめることはできません。

### ○お問い合わせ先

●申請、購入引換券について

観光産業課観光商工班…TEL 29-3908

●販売、換金等について

かづの商工会……………TEL 0186-22-0050

